

地方創生に関する事業の効果検証について

1 デジタル田園都市国家構想(推進)交付金（デジタル実装タイプ T Y P E 1）

年度	ページ	事業名	備考
令和4年度	3	過疎地域におけるＩＣＴを活用した持続可能なまちづくり事業（移住促進）	
令和6年度	4	「選ばれる水俣」推進事業（コンビニ交付）	
	5	オンライン手続の導入による自治体と住民との接点の多様化・充実化	
	6	くまもと農地ＧＩＳを活用した情報共有化事業	熊本県への負担金

令和4年度 デジタル田園国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ T Y P E 1） に係る事業の効果検証

概要							
「デジタル田園国家都市国家構想」の実現に向けて意欲的な地方公共団体に対し、デジタル実装について国が支援するもの。 デジタル実装タイプTYPE 1は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、他の地域で既に確立されている優良モデル等を活用したサービスを地域・暮らしに実装する取組。							
計画	デジタル実装タイプ T Y P E 1 実施計画						
事業実施年度	2022年度						
事業名	交付金額（円）	事業概要・効果					
過疎地域におけるICTを活用した持続可能なまちづくり事業（移住促進）	611,959	【事業概要】 市公式LINE機能整備のためのシステム改修（事業費：1,223,918円） 【効果】 市ホームページと市公式LINEアカウントを連携し、ホームページ上の情報を迅速に市公式LINEへ配信することで、必要な情報をプッシュ型で発信できるようになり、住民サービスの更なる向上につながった。 （市公式LINE登録者数：4,588人（2025年3月現在））					
	3,657,500	【事業概要】 まちの魅力紹介動画作成（マーケティング調査含む）（事業費：7,315,000円） 【効果】 本事業で実装した移住PR動画をはじめ、本市の移住定住HP等への誘導を目的とした有料広告や移住イベントへの参加などにより、2024年度の水俣への移住者数は36人となった。					
	543,444	【事業概要】 空き家バンク物件のVR化のためのシステム改修（事業費：1,086,888円） 【効果】 2024年度は新規空き家バンク登録件数8件、成約件数5件となった。 （空き家バンク登録物件数：16件、VR映像閲覧回数 72回～910回（2025年7月現在（※2025年3月時点の数値が確認できないため現在値で掲載）） ※2024年度の空き家バンクの利用登録者数は0人だが、実際は市HP閲覧者から相談を受け、利用登録を経ずに不動産業者を通じて成約に至るケースがあり、当該成約件数が2024年度は5件であった。					
成果指標（KPI）	基準値（年度）	目標・実績値（上段目標・下段実績）					
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
移住者数（人）		20人以上	20人以上	20人以上			
		0	20	36			
移住相談回数（市来訪者）（回）		10	10	10			
		13	36	38			
空き家バンクの利用登録者数（人）		20	20	20			
		5	0	0			
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等			特になし				

令和6年度 デジタル田園国家構想交付金（デジタル実装タイプ T Y P E 1） に係る事業の効果検証

概要							
「デジタル田園国家都市国家構想」の実現に向けて意欲的な地方公共団体に対し、デジタル実装について国が支援するもの。 デジタル実装タイプTYPE 1は、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて、他の地域で既に確立されている優良モデル等を活用したサービスを地域・暮らしに実装する取組。							
計画	デジタル実装タイプ T Y P E 1 実施計画						
事業実施年度	2024年度						
事業名	交付金額（円）	事業概要・効果					
「選ばれる水俣」推進事業 （コンビニ交付）	9, 207, 026	【事業概要】 誰もがデジタル化の恩恵を受けられる社会と、自治体規模が縮小しても行政サービスが維持される住みよい社会の実現のため、全国のコンビニ等に設置された端末からマイナンバーカードによる個人認証を用いて住民票・印鑑証明・所得課税証明を取得できるサービスを実装する。					
		【事業効果】 2024年12月からコンビニ交付を実施し、全国のコンビニで、休日等閉庁時でも各種証明書を取得することができるようになった。 2022年度から取り組んでいるオンライン申請に加え、コンビニ交付のサービスを導入したことで、多様なライフスタイルに合わせた行政サービスの提供が可能となり、市民サービスの更なる向上を図ることができた。 ＜参考＞ ・水俣市内のコンビニ数：7か所 ・コンビニでの証明書取得可能時間：午前6時30分から午後11時00分					
成果指標（KPI）	基準値 （2023年度）	目標・実績値（上段目標・下段実績）					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
コンビニ等での各種証明書発行件数（件）		1, 000	4, 000	5, 000			
		636					
マイナンバーカード保有率（％）	74. 6	77. 0	85. 0	95. 0			
		78. 9					
住民満足度調査（ポイント）		3. 0	3. 8	4. 5			
		4. 5					
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等			特になし				

事業名	交付金額（円）	事業概要・効果					
オンライン手続の導入による自治体と住民との接点の多様化・充実化	805, 788	【事業概要】 住民等の行政手続方法を多様化することで利便性を向上させ、住民から選ばれるまちづくりへ寄与するため、これまで行政手続のために仕事を休んで窓口を訪れたり、郵送書類の作成で手間がかかったりしていた住民等に対して、あらゆる手続に対応し、ＰＣやスマートフォンなどデバイスを問わず電子申請ができる仕組みを提供する。					
		【事業効果】 総務省の「自治体DX推進計画」を参考に、行政手続のうち、特に市民の利便性向上に資するものから、順次オンライン手続化を進めている。国のマイナポータルを活用し、子育てや介護に関連する26の手続をオンライン化したほか、転出届やパスポート申請などのオンラインでの申請を開始した。また、LoGoフォームを活用し、上下水道の使用開始・中止届や住民票、所得証明書の申請、工事入札参加者資格審査申請、職員採用試験の申込申請など、オンラインでの申請を可能とし、市民の利便性向上に寄与した。					
成果指標（KPI）	基準値（年度）	目標・実績値（上段目標・下段実績）					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
電子申請可能な手続等の件数（件）		10	20	40			
		63					
電子申請で受付した申請件数（件）		100	300	600			
		4, 450					
オンライン手続の満足度（ポイント）		3. 0	3. 3	3. 4			
		3. 7					
水俣市地方創生ＳＤＧｓ総合戦略会議からの意見等			特になし				

事業名	交付金額（円）	事業概要・効果					
くまもと農地GISを活用した情報共有化事業	41,000	【事業概要】 近年、農業者の高齢化や慢性的な人手不足により、担い手の確保、農地の集積、耕作放棄地の増加など課題となっているが、そのひとつに、土地改良施設の維持管理も問題となっている。 このため、土地改良区等（農業者）も閲覧可能なWeb型GIS（サーバ）で共有するシステムを構築し、関係団体が所有する施設等の情報をデータベース化・共有化することで、施設の維持管理や水管理を適切に行える環境を整備し、持続可能な営農と食料の安定供給を実現する。					
		【事業効果】 これまで、スタンドアローンで運用していた「くまもと農地GIS」をWEB型GISで共有するシステムとして新たに構築されたことで、WEB環境で複数の端末からGISデータを閲覧することが可能となり、農地情報等のデータベース化と・共有化を図ることができた。					
成果指標（KPI）	基準値（年度）	目標・実績値（上段目標・下段実績）					
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
オンラインGISの利用件数（件）		6	48	96			
		未計測					
土地改良施設等情報共有サービスの満足度		－	2.5	3.5			
		－					
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等			特になし				

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税寄附活用事業）

年度	ページ	事業名	備考
令和6年度	8	強い産業基盤をつくり、安心して働ける水俣をつくる事業	
	8	安心して暮らせる魅力的な水俣をつくる事業	
	9	人材を育て、水俣への新しい人の流れを作る事業	

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業（企業版ふるさと納税寄附活用事業）

に係る事業の効果検証

概要							
地方公共団体が行う地方創生の取組に対して企業が寄附。 企業の寄附については法人関係税を税額控除。							
計画	地域再生計画（水俣市まち・ひと・しごと創生推進計画）						
事業実施年度	2023年度～2024年度						
計画に掲げる事業名	寄附額（円）	寄附利用事業名・概要・効果					
強い産業基盤をつくり、安心して働ける水俣をつくる事業	1,000,000	【寄附利用事業名】特用林産物産地化振興事業					
		【事業概要】 本市は特用林産物の一つであるハゼの実の産地であるが、現状は生産者の高齢化や夏場の草刈りや収穫作業などの重労働の敬遠等によりハゼ林の荒廃が進んでいるため、荒廃したハゼ林の再生のほか、生産拡大、全国有数のハゼ生産地であることの認知度向上に向けた取組を行う。					
		【事業効果】 ハゼの実生産の振興のため、ハゼ生産者等で組織する団体が実施するハゼ林の再整備、植栽、イベントの開催等を支援することにより、今後のハゼの実生産量拡大に寄与することができた。					
成果指標（KPI）	基準値 （2021年度）	実績値					目標値 （2024年度）
		2023年度	2024年度				
ハゼ苗木の年間新植数（本）	100	180	104				基準値の維持
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等			特になし				

計画に掲げる事業名	寄附額（円）	寄附利用事業概要・効果						
安心して暮らせる魅力的な水俣をつくる事業	6,986,000	【寄附利用事業名】防犯灯新設事業、災害時備蓄用品等整備事業						
		【事業概要】 指定避難所に指定されている「水俣環境アカデミア」までの避難経路における防犯灯の新設及び災害時の備蓄品の購入						
		【事業効果】 水俣環境アカデミアまでの避難経路が明るく照らされ、安全な避難が可能となった。また、衛星携帯電話等を導入することで災害時に電話やインターネットが繋がらない状況でも通信手段を確保することができた。						
成果指標（KPI）		基準値 （2021年度）	実績値				目標値 （2024年度）	
			2023年度	2024年度				
刑法犯認知件数（件）		41	50	56				40
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等				特になし				

計画に掲げる事業名	寄附額（円）	寄附利用事業概要・効果					
人材を育て、水俣への新しい人の流れを作る事業	6,000,000	【寄附利用事業名】「選ばれる水俣」推進事業（プログラミング人材育成事業）					
		【事業概要】 半導体関連の人材育成を推進するため、地域活性化起業人や市内企業等と連携し、市内の小中高生に対しプログラミングを学ぶ・体験する機会を提供する。					
		【事業効果】 小中学生がプログラミングを体験し、ものづくりへの関心を高め、論理的思考力の向上につながった。また、小中学校におけるプログラミング教育のサポートを行うことで教育活動の充実につながり、半導体関連人材の育成に寄与した。 ・プログラミングセミナー 11人 ・ロボコン（JRC）出場サポート 3人 ・小中学校教員研修会 10人 ・技術教科（プログラミング分野）における学習活動例の作成・配布 など					
	100,000	【寄附利用事業名】「選ばれる水俣」推進事業（移住定住）					
		【事業概要】 移住定住及び関連人口増加のため各種助成金の創設・改正を行うとともに東京や大阪で開催される移住定住イベントに参加し、水俣のPRを図る。					
		【事業効果】 移住者向け各種補助制度や、移住定住お試しハウスの受入れ実施により移住者の獲得につながった。 また、県主催のイベントに積極的に参加して本市のPRを実施したことにより、本市へ興味・関心を持ってもらうきっかけとなった。 ・移住施策を活用した転入者数：2024年度36人 ・空き家バンクを活用した入居件数：2024年度29件					
成果指標（KPI）		基準値 （2022年度）	実績値				目標値 （2024年度）
			2023年度	2024年度			
事業参加者数（プログラミング体験教室）（人）		—	—	24			30
移住施策を活用した転入者数（人）		—	20	36			30
水俣市地方創生SDGs総合戦略会議からの意見等				特になし			

3 地方創生拠点整備交付金

年度	ページ	事業名	備考
令和3年度	11	道の駅みなまた再整備事業	

令和3年度 地方創生拠点整備交付金

に係る事業の効果検証

概要								
地域経済の活性化という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な施設整備等を支援。所得や消費の拡大を促すとともに、まちを活性化させ、地方の定住・関係人口の拡大にも寄与。								
計画	地域再生計画（道の駅みなまた再整備計画）							
事業実施年度	2021年度							
事業名	交付金額（円）	事業概要・効果						
道の駅みなまた再整備事業	144,100,019	【事業概要】 ・総事業費：414,751,947円 ・事業実施：2021年度 エコパーク水俣敷地内に位置する「道の駅みなまた」について、物産館「Shop & Cafe ミナマータ」、「みなまた木のおもちゃ館きらら」及び「インフォメーションセンター」の再整備を行った。						
		【事業効果】 リニューアルによるイメージアップ及びコロナ5類移行後のお出かけ需要により、道の駅の来館者及び売上等が増加傾向にある。併せて、イベント等の開催により水俣市内への入込客数も増加している。						
成果指標（KPI）	基準値（事業開始前）	目標・実績値（上段目標・下段実績）						
		2021年度	2022年度 ※リニューアル年	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
道の駅みなまたの来場者数 （レジ通過者数）（人）	0		66,343	86,241	112,112	134,529		
			96,883	113,202	114,308			
道の駅みなまたの売上げ （百万円/年）	0.00		95.93	124.70	162.11	194.52		
			163.49	174.08	190.90			
水俣市観光入込客数（人/年） （宿泊客数＋日帰り客数）	0		409,938	532,885	692,739	831,241		
			425,667	512,143	516,595			
水俣市地方創生SDGs 総合戦略会議からの意見等			特になし					